

建設協組news

ライト Light



全京都建設協同組合

Tel.075-382-1021(代) / Fax.075-394-3201
http://www.zenkyoto.jp/ ✉z-kanri@cocoa.ocn.ne.jp
〒615-8165 京都市西京区榎原盆山13-1
発行人：田中 宏樹

7 2010.July
通巻466号

HEAD LINE 今月の主な記事

- 懇親会に130人が交歓 7
- 戦国時代の舞鶴「中山城跡」発掘 10
- 夏のユニフォーム / 共同購入 11
- 気がきく女性社員の仕事術 12
- 法律Q&A「親の預金の相続」 13

組合再生へ決意かため合う2010通常総会

2010年度通常総会



全京都建設協同組合の2010年度通常総会が、京都市南区の新・都ホテルで5月27日(木)に開かれました。38人の組合員が出席。書面議決書と委任状とをあわせ253人でした。

総会はず、司会の田中宏樹理事が、議長団に小林博明理事と宮下茂一右京支部長を提案し、了承されました。議長から資格審査委員に森廣行理事と山本眞司理事を、選挙管理委員に石山孝史理事と西山英樹理事が提案され、いずれも承認されました。書記には真継恵子と岡田妙子の両氏が任命されました。

最初に挨拶に立った野原利明理事長は、「この組合を再生して、500、800の組合員に返り咲くようにしたい。不況という言葉に埋もれないように、また組合員の皆さんの英知を出すために組合は必要だと思えます」と述べ、組合員の組合への一層の結集を呼びかけました。挨拶の前に、2009年度に逝去された伏見支部の山田實氏(株マハタギ電気商会)に黙祷を捧げました。

次に議案の提案に入りました。第1号議案(2009年度事業報告と2009年度決算)は川久保雄二郎専務理事が、決算監査報告は小林守男監事が、第2号議案(2010年度事業計画と2010年度予算)は池田光繁理事がそれぞれ提案しました。また第3号議案(定款改定)と第4号議案(役員報酬限度額)は木村充常務理事が提案しました(各議案は別記)。

議案提案を受けた審議では、「本部会館の売却はその後どうなっているのか」「決算書の繰延資産などの数字が毎年変わっていないが…」の質問がありました。「入札は不調でしたが、その後数社と交渉しています。売却の仕方でも1社だけではなく複数の組合員さんが購入企業を作ってもらって、そこに売却するという方法も模索しなければと思っています」と野原理事長が説明。また川久保専務理事は、「繰延資産だけでなく、不良になった債権を処理したいが、処理するためにはその数字が必要です。2009年度も貸倒引当金もさらに計上していますが、毎年少しずつでも処理をしていきたい」と答えました。4議案に対する審議はスムーズに進行しました。

審議を終えて、森資格審査委員が「出席者47人、書面議決書と委任状で206人、合計253人。よって定款38条に基づき、組合員数333人の過半数168人を超えているので、本総会は成立しています」と報告しました。議長が議案ごとに「反対、保留、賛成」の順に挙手による採決を行いました。

採決の結果、第1号議案は反対2、保留0、賛成251で、第2号議案は反対3、保



留0、賛成250で、第3号議案は反対2、保留0、賛成251で、第4号議案は反対5、保留0、賛成248でそれぞれ可決されました。

続いて第5号議案（役員の選出）の提案に入り、石山選挙管理委員は「次期役員候補者は5月17日に締め切った結果、理事会推薦理事15人、理事会推薦監事2人でした。いずれも定数内なので、定款第30条第4項に基づいて全員無投票当選とします」と報告。議長は新しい理事と監事の名前を読み上げました（別記）。

新理事紹介後、第1回理事会が別室で開かれました。

再開後、川久保前専務理事が第1回理事会報告と新理事を代表した挨拶を行いました。川久保前専務理事は、理事会において理事長、副理事長、専務理事、常務理事の三役が選任されたことを報告。選任された新三役は、理事長が川久保雄二郎、副理事長が福島弘、光本大助、専務理事が池田光繁の各氏です（常務理事は空席）。

川久保新理事長は、員外理事が理事長になった経緯と理由を説明し、「組合の執行は員外の常勤役員、責任は非常勤の組合員理事長になっています。この体制が今日の経済情勢からしてふさわしいかという問題意識があります。しかし理事会では、本来は組合員理事長がふさわしいという考えが大半ですが、組合再生のこの時期、員外理事長もやむをえないとの結論になりました」と出席者に理解を求めました（別記）。

この報告に対し出席者からは、員外理事の理事長選任について「定款上問題はないか」「組合員の感情からすると、事前に知らしめる必要は手続き上なかったのか」などの質問が出されました。川久保新理事長は、関連する定款の各条項を読み上げるとともに、事前に京都府と中央会に相談し、問題はないとの見解を得ていると説明しました。しかし、「組合の歴史上初めてとなる員外理事長の誕生なので、十分に組合員に説明する責任があると思いますので、総会後にその努力を尽くします」と語りました。福島、光本両副理事長らからも補足発言がありました。この件については少し白熱気味になりましたが、組合の歴史の曲がり角を反映した結果であるとの共通認識は得られました。

その後、議長から退任理事が紹介され、退任理事を代表して野原前理事長が挨拶をしました（別記）。

来賓として参加した京都府商工労働観光部ものづくり振興課の小谷貞夫副課長、京都市産業観光局産業振興室の古武康男課長補佐・経営支援係長、京都府中小企業団体中央会の近本利和事務局次長の3氏が激励の挨拶をしました（別記）。

全ての議事が終了し、司会者が議長団をねぎらい、閉会の挨拶を橋爪前副理事長に求めました。橋爪氏は「この組合が存続してこそ意義があると思います」と述べました。

野原利明理事長の挨拶

2010年度通常総会のご案内を申し上げたところ、多くの方々にご出席いただき、誠に有難うございます。また、平素は当組合のいろんな活動の中でも協力を賜り、有難うございます。

昨年度は色んな決断をしました。過去4年来になりますが、組合の再生をかけて、専任の職員と共に頑張ってきましたが、世間には建設業、また協同組合と、さまざまな団体がある中で、組合員数が激減しているところで、当組合も同じような形を取っていると思っています。

新政権になり、公共事業もコンクリートから人へ大きく流れを変えています。我々の仕事そのものも、経済の縮小の中で激減している次第です。ここにお集まりの皆様は、それをすべて克服しながら、当組合に残って頑張っていただいている方ばかりです。どうか、この組合が再生をして、組合員が500、800と返り咲けるように、不況という言葉に埋もれてしまわないように、皆様の英知を出すためにも組合は必要だと思っていますので、ご協力をいただきますように、衷心よりお願い申し上げます。

可決された「2009年度事業報告」(大要)

ピンチでもありチャンスでもあるという経営環境の中で、2009年度組合は、苦しみと迷いの1年でした。姿勢を前に前に向けてはきましたが、強引に後ろ向きにさせられました。

総合事業部のリース事業の売上を例年の半分近くに落とし、回復させられませんでした。原因は、公共工事の激減によるリース事業の利用への深い影です。これに対し、既存の顧客に頼るだけでなく、対象を定めた新規顧客開拓にちからの入れ方を変えました。にもかかわらず、なぜ結果を出せなかったか。方針の具体化の貧弱さであり、目的地点までの筋道が描かれていなかったからです。同事業部の販売事業は主力事業との扱いをしていないとはいえ、論外の結果となりました。

文化財事業は例年並みの売上を維持しました。この結果は確信にしたいと思います。他事業者との競合が強まっているにもかかわらず、長年の営業強化が実っていると捉えています。

建設工事業部は、これまでの赤字の体質を克服し、黒字に転換しました。何よりも売上に見合った固定経費の削減が功を奏しました。

以上が主事業の総括になりますが、数字においては以下のとおりでした。売上は5億9,628万円。粗利益は1億8,003万円で30.19%。利益は171万円でした。

組織活動は、全組合員に加入メリットを認識してもらおう活動であるにもかかわらず、芳しくありませんでした。新規加入は2企業にとどまり、脱退は29企業で、組合員現勢は333になりました。減少幅は小さくなったとはいえ止まっていません。この点からも組織活動の重要性は増しています。2009年度は支部の統合が進み、15支部から10支部になりました。今回できなかった支部でも統合を予定しています。統合の積極的の目的は支部の活性化です。その中心になっているのが継承組合員や若い組合員であり、「統合して元気になった」「支部の空気が変わった」などの感想も少なくありません。顕著な動きとして、右京支部のホームページ「ネットCM」や桂川支部のイベント「フリマ衣食住」の取り組みをあげることができます。この2つの取り組みの共通点は、「仕事にむすびつく支部活動をしたい」という強力な意志です。他支部にもこれらの取り組みは伝播しようとしています。組織活動のもう一つの活動である『建設協組news Light』と、セミナーに集約される情報発信活動や教育活動は振るいませんでした。

2009年度を総括する上で、組合本部会館（京都市右京区西院）の売却問題は明記しなければなりません。組合の「負の遺産」の象徴だった銀行借入を圧縮するために、臨時総会を2009年12月4日に開催し、組合員の賛成多数で会館売却を決めました。35年前、組合員の支援によって建てた砦を売却せざるをえない状況にいたったことは、痛恨の極みですが、2010年3月29日に本部を京都市西京区に移転したことによって、固定経費削減の効果がうまれます。

可決された「2010年度事業計画」(大要)

時代に呼応した経営転換は、中小企業に一刻の猶予も与えてくれません。中小企業施策を手厚くすることを行政に求めることはもちろん、独自あるいは協同による経営転換への努力も必定です。そこに組合の存在する意義があります。それは、ささやかなことから大胆な方針まであるでしょうが、体力や能力に見合ったことから始めることとなります。組合員はそのことを組合に求めています。その存在意義や原点に立って、組合は2010年度の活動をどう展開するかということです。

まず、事業活動と組織活動の違いを共通認識にしたいと思います。この点はここ数



年、毎年、問題提起をし、議論をしてきたことですので、ほぼ結論に達した感があります。

全組合員からの賦課金でまかなう組織活動は、全組合員を対象とした活動です。享受するかしないかをどう捉えるかという問題はありますが、全組合員に対してまんべんなく投げかけるべきものです。

一方、事業活動は、その事業を必要とする組合員に限られます。利用した組合員が、その事業に値打ちをいかに見出すかは、その組合員個人の問題です。値打ちがなければ利用しません。組合は、組合員利用を増やすためにサービスを高めます。組織活動はそうではありません。事前に賦課金を一律に全組合員から徴収していますから、あくまで全組合員を対象に、最後までその満足度を高めるために追求することが必要です。これまで、経理、総務、事務代行、組織活動が入り混じっていた管理部に代わり、組織活動を専任的に担当する「組織部」を2010年度から新設しました。他は総合事業部に組み入れました。この組織部によって、組織活動の活性化に挑みます。

建設工事業部は、赤字事業部に戻さないために「粗利益に見合った固定経費」の考え方を維持します。しかし、焦眉の課題である売上を伸ばすためには「全職員が営業マン」という意識の徹底と常勤役員の営業がカギになります。組合の強みに確信をもち、再度その強みによって武装する必要があります。

総合事業部では、リースと文化財の2つの事業の拡大が最大の力の入れどころです。とりわけリースは、2009年度の売上の落込みを早期に克服し、さらに上乘せ目標をかかげます。目標への筋道も明確にします。文化財は、安定しているとはいえ、これまでの埋蔵文化財調査を補助する単品事業から総合事業への進化なしには将来像を描くことができません。その総合事業の準備と他府県進出において結果を出すことを目標にします。いずれにしろ、安定した売上と利益をどれぐらいの規模で確保するかが、組合の屋台骨としての使命です。その他、新しい事業を上半期に立ち上げます。

組織活動は、新設した組織部でのフル回転が目標です。体力や能力が十分備わらなくても、直ぐにでもできることはたくさんあります。支部活動と情報発信・教育活動が組織活動の二本柱。「旺盛さ」をキーワードに、統合を機に、おもしろくなりはじめた支部活動をもっと活発・多彩に展開し、情勢の変化がチャンスになりはじめた情報発信・教育活動をさらに強めていきます。

「定款改定」可決される

通常総会で可決された第3号議案「定款改定」は、次のとおりです。改定理由は、組合員数と、支部統合による支部数の減少にともない、役員数をその現勢に適応させ、かつ円滑な理事会運営をおこなうためです。

(役員の定数) 定款第24条を以下のとおり改定する。

旧 (役員の定数)

第24条 役員の定数は、次のとおりとする。

- (1) 理事 20人以上25人以内
- (2) 監事 3人

新 (役員の定数)

第24条 役員の定数は、次のとおりとする。

- (1) 理事 12人以上18人以内
- (2) 監事 2人

可決された「役員報酬限度額」

通常総会で可決された第4号議案「役員報酬限度額」は次のとおりです。
2010年度の役員報酬限度額は、総額15,000,000円以内とする。
なお、2009年度の役員報酬は以下のとおりでした。
2009年度予算総額15,000,000円 / 2009年度決算総額13,420,000円

選出された理事・監事

通常総会で全員無投票当選（全員理事会推薦）をした第5号議案「役員」は、次のとおりです（五十音順・敬称略）。

理事

池田光繁（再）・40歳・本部・員外 / 石山孝史（再）・59歳・石山テクノ建設㈱・洛中支部（建築） / 尾形良治（新）・58歳・㈱尾形電気工事・洛南支部（電気） / 奥村良一（再）・66歳・(有)奥村建具店・久御山支部（建具） / 川久保雄二郎（再）・56歳・本部・員外 / 小林博明（再）・52歳・小林金属興業㈱・新京支部（鋼構造物） / 田中宏樹（再）・39歳・㈱協栄土工機・洛中支部（土木） / 寺岡昌三（再）・53歳・(有)中出瓦店・北山支部（屋根） / 西野広好（再）・58歳・㈱西野工務店・右京支部（建築） / 西山英樹（再）・38歳・㈱kyokan・新京支部（内装） / 福島弘（再）・62歳・(有)福島晴芳園・洛西支部（造園） / 松岡雪男（新）・60歳・松岡工務店・桂川支部（建築） / 光本大助（再）・52歳・光本瓦店(有)・北山支部（屋根） / 森廣行（再）・59歳・(有)イーグル重機・伏見支部（機械器具） / 山本眞司（再）・47歳・㈱山佐塗装工業・右京支部（塗装）

監事

近藤暢造（再）・71歳 / ㈱近藤電業社・洛西支部（電気） / 辻本秀一（再）・68歳・辻本建設㈱・右京支部（土木）

員外からの理事長選任について(川久保新理事長の報告要旨)

ご存知のように組合は賦課金だけで運営しているのではなく、その多くが事業活動です。事業の運営の実態は、借金をするにも、リスクのあることをするにも、理事長から任された常勤で員外の役員が代行してきました。しかし、最終責任をとるのはすべて非常勤で組合員の理事長です。

経営の執行と責任が違うという矛盾、そして厳しい経済情勢にそぐわない、こうした役員の執行と責任体制でいいのだろうか、という問題意識がずっとありました。さらに、そのことが、組合を今日こういう状況にしてきた原因の1つではないかと思っています。

では、どうすればこういう状況からの脱却ができるのかという問いに対する答えが、役員の体制を事業の現実と矛盾させない体制に変えるということです。

この答えは、理事会というよりは私の考え方であり、その考え方で執行し責任をとる決意でもあります。

しかし理事会では、組合という組織から見て、このことがふさわしいわけではないという考え方をしております。できるなら、組合員が理事長であるべきだ、という考え方が大半です。しかし、こういう状況になった組合を立て直すための過渡期として、員外理事の理事長もやむをえない、という結論に達したわけです。ご理解をお願いいたします。



退任役員(有難うございました)(敬称略)

理事長 野原利明 (株)野原工務店
 副理事長 橋爪均 (株)ストロベリーセブン
 常務理事 木村充 員外
 理事 阿田好真 阿田工務店 / 伊佐健 (株)伊佐組 / 塚原敏 (有)塚原建設 /
 南敬二 南瓦工業(株) / 山本一晃 山本建設工業(株)
 監事 小林守男 (有)小林設計工務

総会で来賓3氏が挨拶(敬称略)

小谷貞夫 (京都府商工労働観光部ものづくり振興課副課長)

平素は、京都府政の推進、とりわけ商工業施策の推進にご協力を賜り、有難うございます。山田知事に代わり、お礼を申し上げます。人類が始まって以来、住まいを支えてこられたのが建設業業界であると考えています。ここで、一つの提案をしたいのですが、経済が非常に厳しい状況にある中、私共が、企業を応援しているメニューの情報発信に、建設業業界の方は、他業種と比べるとあまり利用されていないので、ぜひ情報を取りに来ていただきたいと思います。組合自体には、そのサポートをお願いしたいと考えています。結びに、今後ますますのご発展を祈念しております。本日はおめでとうございます。

吉武康男 (京都市産業観光局産業振興室課長補佐・経営支援係長)

平素は、京都市政にご協力を賜り、有難うございます。組合の皆様におかれましては、「結の家」のブランドであるとか、組合の活動をとおし、京都の地場産業の発展にご尽力をいただき敬意を表します。京都市と致しましても、京都市中小企業支援センターを中心に、金融支援、金融相談、経営相談と、さまざまな取り組みをしておりますので、大変厳しい状況ではありますが、共に頑張っていきたいと思っています。最後に貴組合のますますのご発展と、皆様のご健勝を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

近本利和 (京都府中小企業団体中央会事務局次長)

貴組合の皆様には、中央会の諸事業にご協力を賜り、有難うございます。員外の方が代表理事を務められている組合も幾つかあります。今後とも、川久保新代表理事の基、組合員の皆様が一致団結して、難局を乗り切っていただきたいと思っています。組合は、様々な事業を展開し、京都の中小建設業のリーダー的存在であると認識しています。今後ともますますのご発展を祈念して、結びの言葉とさせていただきます。

野原前理事長が退任の挨拶

数年来の組合の建て直しと、組合を軌道に乗せるということで、前理事長から突然の交代劇があり、理事長になりました。また、理事長着任早々に壁の崩落があり、今までの組合のあり方を理事の皆様と何とか再生をかけなければならないと、色んな意見をいただきながら、やってきまして、無事にという言葉が適切かどうか分かりませんが、任期を終えることができました。色んな中から一つの方針を見出すことができました。これを軸として、川久保新理事長のもとで、一つの負債、一つの行動、結いの家のブランド化など、当初から言い続けてきたことを頑張っってやっっていこうという

方針もできましたので、どうか、この組合が再生して、京都一の建設業の組合であると、府民の皆様理解してもらえるように、住まいというものに我々が共に従事しながら、頑張っていきたいと思います。皆が仲良く、当初の組合ができた時点というものを思い起こしつつ、50年を100年に、組合が存続していけるように努力していただきたいと思います。本当に短い間ではございましたが、有難うございました。これからもよろしくお願い致します。

橋爪前副理事長が閉会の挨拶

今日は長時間にわたって熱心な審議をいただき、その上、すべての議案を賛成多数で承認していただき、有難うございました。私事になりますが、私も今回をもって退任させていただきます。組合員になって26年ぐらいになりますが、この組合で、商売の方法や、組織運営のことなどを教えていただきました。川久保新理事長、池田新専務理事に託したいのは、この組合が存続してこそ意義があると思いますので、またその上で、発展していくことをお願いして、閉会のあいさつとさせていただきます。

総会後の懇親会に130人が交歓

総会后、別室で懇親会が行われました。懇親会には、組合員80人、来賓33人、職員17人の総勢130人が出席し、例年以上の盛り上がりになりました。

司会者は橋本抄袖里さん（武部宏事務所）。最初に川久保新理事長が挨拶し、「性格がねじれていますが、こういう混沌とした時代、こういう組合の状況に適役かもしれません。選任された以上はがんばりたいと思います」と、新理事長としての決意を改めて述べました。

続いて来賓が紹介され（別記）、代表して民主党参議院議員の前田武志、日本共産党京都府委員会副委員長の成宮真理子、全国中小企業青年中央会次期会長の堀井聖介の3氏が挨拶しました（別記）。また、7通の祝電も（別記）披露されました。

懇親会は前半を終え乾杯へ。光本副理事長が、お馴染みの元気のある音頭をとりました。「形がまわず原点に帰ってがんばろうとしています。これだけたくさんの人に来ていただいているので、まだまだ、もっとがんばれます」。乾杯後、待ち構えたかのように料理に舌鼓をうち、杯を交わし、思い思いの語り合いが始まり、宴も一気にたけなわ。

従業員表彰が行なわれ、那須産業㈱の中原信輝、㈱アラキ工務店の桜井宏昭、組合職員の横山肇、葉狩勝の各氏が表彰されました。

続いて、支部活動を推進するポイント制の点数が池田専務理事から発表され、ポイント点数に見合う金一封が上位3支部に手渡され、会場から大きな拍手が起こりました。

10支部の支部長も紹介され、各支部長を代表して洛南支部の井上靖志支部長（井上工務店）が、若者らしくさわやかに語りました。

続いて、総会で信任された松岡雪男、尾形良治の2理事がそれぞれ豊富を述べました（別記）。最後に、組合の新職員岡田妙子氏が紹介され、挨拶しました。

懇親会もあっという間に予定していた時間になり、福島副理事長が「がんばろう」一発で中締め。「伸びる可能性は無尽蔵にあります。足元を見つめながら、益々発展していきたいと思います」と語り、余韻を楽しむ組合員に閉宴を誘いました。



懇親会で来賓3氏が挨拶(敬称略)

前田武志 (民主党参議院議員)

今日は、川久保新理事長のもとで、新たな出発をされたことをお祝いを申し上げます。住宅は、低炭素化社会に向けて、断熱改修、耐震改修などを中心に、町づくりも再生、世代循環的な流通業も含めて、そういう方向に持っていくべきだという政策にしております。第一歩が、住宅のエコポイントにしかありませんが、どんどんこれを進めて行きます。ぜひ、ここにお集まりの皆様が、低炭素化社会のパイオニアとして取組んでいただきますように、お願い致します。

成宮真理子 (日本共産党京都府委員会副委員長)

政治の世界でも、建設業を含めて、今こそ中小企業をどう応援するのか、本格的に中小企業支援振興策をつくっていく政治へ踏み込むのかどうか、問われているときだと思います。5つの支援施策の中に、大企業と中小企業のルールが不公平であるので、これを是正していくこと、中小企業を応援していくときに予算が少ないので、これを5倍にして、リフォームの制度など中小企業の仕事を政治がつくっていくことなどを提案しています。最後に、これからの建設協同組合のますますのご発展を祈念しています。

堀井聖介 (全国中小企業青年中央会次期会長)

企業に占める中小企業の割合は99%ですが、その中での小規模企業は87%になります。ということは20人、それ以下の企業が、今の日本を支えているということです。その皆様の技術が、大企業のネームバリューとして取られ、小規模企業が上に浮かばれないという実態を打破していきたいと思います。また通産省の発表ですが、建築関係53万社あるうち、32万社が淘汰されるであろうというデータを出しています。その中で、やらなければならないことは、私たち自らが政策をつくっていく、国が政策をつくるならば、小規模企業中心の政策をつくって欲しいと思います。組合とも、共存共栄を図りながら、建築を盛り上げていきたいと思います。

光本副理事長が懇親会で乾杯の音頭

この組合も、長い間いた本部会館を飛び出して、形振り構わず原点に帰って頑張ろうとしています。これだけ沢山の人来て頂き、まだまだもっと遣れます。これから、理事長ともども組合をよろしく願います。乾杯！

豊・ふすま・インテリア

室内装飾仕上

クロス、表装、床施工、ダイノックシート
ガラスフィルム、障子張り、カーテン
ブラインド、キッチンパネル施工



株式
会社

にしむら

京都府知事認可
(般-14) 4728号

京都市右京区太秦安井松本町22 (三条通り天神川東入ル)

TEL 075 841-4400 FAX 075 811-0339

<http://www.homeservice.co.jp/>

土・建築・製作金物 設計・施工

製作金物の構造計算から作図・設計・施工までいたします。

ステンレス製作金物なら実績ある当社へ御用命ください。

株式会社 **三田**

京都府久世郡久御山町野村東147-2
TEL (075) 631-7833 FAX (075) 631-7857

<http://www.mita036.com>

mita036 検索

新理事 2 氏が懇親会で挨拶

尾形良治

城陽支部と木津川支部が本年統合いたしましたして、洛南支部となりました。その支部より今年度から新理事として、大役ですが出席させていただくこととなりました。色々、ご相談などをさせて頂くこともあるかと思いますが、新理事長共々によるしくお願ひ致します。

松岡雪男

大変なときに理事になったと思います。組合に入って24~25年経ちますが、今まで組合の中のことは分かりませんでした。今度は、色々組合のことを勉強したいと思っています。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

総会に寄せられた祝電・メッセージ(敬称略)

外務副大臣・参議院議員	福山哲郎
衆議院議員	平 智之
自由民主党京都府議会議員	尾形 賢
民主党京都府連副幹事長・京都市会議員	おんづか功
全京都建築労働組合執行委員長	田辺正男
京都土木協同組合理事長	植田重男
株式会社商工組合中央金庫京都支店支店長	野口昌宏

福島副理事長の懇親会中締め

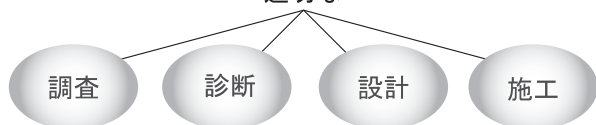
役をすると、飲み物も食べ物も食べられないし、役得というのはありません。組合も、職員が会計を厳しく監視しているので、水が漏れることはないと思います。各社の方々も、職場もだんだんと若返りし、新しい考え方の経営、仕事の取り組み方、受注の考え方など、変わっていきます。発展していく目先も変わっていきますし、伸びる可能性は無尽蔵にあると思います。足元を見つめながら、ますます発展していただきたいと思います。ご来賓の方々、ご臨席を賜り、どうも有難うございました。組合のためにもっと協力をしていただきたいということを含めて、一発、がんばろう！有難うございました。

構造物に対する安全と安心を
高度な保全技術で実現いたします

□ 営業内容

- 建築・土木構造物の調査・診断・設計業務
- 建築・土木構造物の補修・補強工事
- 重要文化財・木造建築物の補修・補強工事
- マンション・ビル大規模改修工事
- 耐震補強工事
- 建物の新築・リフォーム工事
- マンション・ビル管理業務

適切な



石山テクノ建設株式会社

一級建築士事務所

〒604-8411 京都市中京区聚楽廻南町1番地

TEL. 075-822-4377(代) FAX. 075-803-0417



<http://www.ishiyama-techno.co.jp>



懇親会来賓名簿(敬称略)

京都府商工労働観光部ものづくり振興課副課長 小谷貞夫 / 京都市産業観光局産業振興室課長補佐・経営支援係長 吉武康男 / 民主党参議院議員 前田武志 / 民主党前田武志参議院議員秘書 三好琢 / 民主党福山哲郎外務副大臣秘書 平田圭 / 民主党平智之衆議院議員秘書 兜山博之 / 日本共産党京都府委員会副委員長 成宮真理子 / 日本共産党京都府会議員 原田完 / 京都第一法律事務所弁護士 村井豊明 / 京都南法律事務所弁護士 杉山潔志 / A t a G O 税理士法人 内林義和 / 「がんばろう、日本！」国民協議会代表 戸田政康 / 環境マネジメントコンサルタント代表 杉原卓治 / 全国中小企業青年中央会次期会長 堀井聖介 / 株式会社京都建築事務所常務取締役室長 宮本和則 / 株式会社京都設計代表取締役 大谷民人 / 社団法人全国中小建設業協会全中建京都専務理事・事務局長 井藤忠 / 京都府商工団体連合会会長 伊藤邦雄 / 京都府商工業協同組合事務局長 榎本洋一 / 株式会社きかんしコム執行役員 永田博紀 / 株式会社きかんしコム企画営業部 佐古田宗幸 / 株式会社D J 代表取締役 福井文雄 / 高石機械産業株式会社常務取締役 吉田栄次 / 西尾レントオール株式会社京都営業所所長 中田彰 / ダイワ産業株式会社営業課長 中道幹雄 / 日本セイフティー株式会社大阪支店 西村優希 / エスアールジータカミヤ株式会社京滋営業所所長 名倉賢一 / 村地総合木材株式会社 柿本健一 / 三井住友海上火災保険株式会社京都支店京都中央第二支社長 永山昌志 / 建設経済新聞社編集部主幹 丹波城和 / 株式会社京都建設タイムズ編集部長 増本幸一 / 株式会社サンキョーワークス代表取締役 土屋光司 / 株式会社全京都ハウジング代表取締役 藤井信次



戦国時代の山城「中山城跡」 / 文化財事業

6月号でも少し触れましたが、舞鶴市で戦国時代の山城「中山城」の発掘調査が始まりました。中山城は丹後の国を治めた一色義清が、織田信長の命令により攻めてきた細川・明智勢との戦いに敗れた1579年、最後にたてこもった城とされています。由良川河口から川沿い5 km上流、標高差60mの比較的低い山城ですが、急斜面であるため、安全に昇降できるようにまず仮設階段を設置。その階段を上がりきった所から調査が始まりました。

担当の(財)京都府埋蔵文化財調査研究センターの調査員さんは、「江戸時代の軍記小説ではわずか数日で落城したと書かれているが、出土された生活感のある土器から、実際はかなり長い間たてこもったのではないかと推測されています。秋まで続くこの調査で、一色家の城での生活や優れた防衛施設を備えた城の構造など、小説には出てこない事実を少しずつ知ることができるでしょう。

永年の信用・まごころのご奉仕

葬祭センター



公益社

本社・京都市中京区烏丸通三条下ル ☎075(221)4000
フリーダイヤル ☎0120-00-4200 <http://www.koekisha-kyoto.com>

葬儀式場

北プライトホール (堀川黎明) 京都市北区黎明通堀川東入 ☎075(414)0420
中央プライトホール (五条大和路) 京都市東山区五条通大和路 ☎075(551)5555
南プライトホール (堀川八条) 京都市南区堀川通八条下西側 ☎075(662)0042
西プライトホール (五条西大路) 京都市右京区五条通西大路西入南側 ☎075(322)0042
烏丸プライトホール (因幡薬師) 京都市下京区烏丸高辻南入東入 ☎075(351)7724
宇治プライトホール (宇治横島) 宇治市横島町(文教大学前) ☎0774(20)0042
滋賀プライトホール (大津) 大津市朝日が丘1丁目 ☎077(523)0042

夏向けユニフォームいかが？ / 共同購入

今までの夏用ユニフォームは、涼しさを考慮するため、どうしても生地が薄くなり、引き裂き強度が弱くなりがちでした。しかし、涼しさよりも強度を重視しなければならぬ仕事もあります。最近では、夏用素材として十分な強度を保ちながら、生地素材の表面に凸凹をつけて肌離れを良くし、背中をノーフォークメッシュにして涼しさに対応させるなど、ハードワーク向けウェアが開発されています。さらに、前や袖口からファスナーやボタンが出ない傷防止機能を備えたものも開発されるなど、夏用ユニフォームは格段に進化しています。この暑い夏をフレッシュな気分で乗り切り、気持ちよく仕事ができるよう各社の最新ユニフォームをご用意しております。この機会にぜひご利用ください。

見積り、カタログなどのご用命も、総合事業部075-392-0722、洛南は0774-45-3610までお願いします。

* * *

洛西センターでは、仮設材、備品も多く扱っています。地鎮祭などで使用するテント、紅白幕、長机、折椅子をはじめ、さまざまな商品を取り揃えています。

また、ガスコンロ、冷蔵庫、冷温水機、扇風機、消火器、スチールロッカーなども種類豊富です。現場事務所など設置される際など、ぜひ、お声かけください。さらに、ユニットハウス、プレハブの販売・リース、綿菓子機・ポップコーン製造機など地蔵盆など地域の催事で使用される機器もリースしておりますので、これからの夏のイベントにもご利用ください。

(K)



投稿 / 社会起業シリーズ

補助金依存の経済からは、自立した強い経済は育たない

今回は、昨年末から京都で開催している「戸田代表を囲む社会起業フォーラムへのよびかけ」を紹介する。

社会関係資本をベースにした、新たな社会的起業をすすめるために

右肩上がりの経済社会の政策原理は、富の偏重を是正する再分配であり、大量生産・大量消費・大量廃棄の価値サイクルが対応していた。「ひも付き補助金を全廃し、一括交付金に」(民主党マニフェスト)は、単なる権限委譲ではなく、政府の役割を変え、真に自立し開かれた国民経済への転換の入り口になる。

そして重要なのは、補助金に依存してこなかった地域経済や産業・企業のところに、自立し、地域の社会関係資本(信頼や互恵性にもとづくネットワーク、人的資源、地

お写真のことは
お任せ下さい

竣工写真+α

まずはご一報、お待ちしております。

小幡豊写真事務所

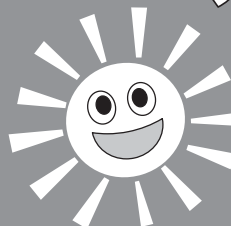
TEL・FAX 075(492)7038

E-mail qqry5wr9@titan.ocn.ne.jp

〒603-8467 京都市北区鷹峯南鷹峯町6番地6

宇宙船地球号を
未来の子供たちへ

太陽光発電



監・取付・メンテナンス

太陽光発電 施工実績11年

株式会社 近藤電業社

お問合せ 075-933-6229

(担当 木田)

〒612-8487

京都市伏見区羽束師菱川町336-19

近藤電業社

検索



域資源など)に依拠した、強くしなやかな経済が生まれ始めているということだ。「行政依存人と経済自立人」と言われてきたように、すでに経済社会の領域には「勝ち組・負け組」という区分ではない分岐が生まれている。

問題は、このような社会的分岐がきわめて自然発生的にしか生まれていないことだ。むしろ日本の戦後体制は、社会関係資本を蓄積するよりも、回復不能なまでに劣化する側に働いてきた(政治不作為は社会関係資本を消滅させる)。1,000兆円超といわれる国と地方の負債は、その指標のひとつにすぎない。生活者や経済自立人は、この現状を直視し、政権交代を通じた政策の構造的転換の道を選択した。「コンクリートから人へ」は単なる比喻ではなく、社会関係資本に依拠したストックとフローの経済づくりに、政策思想の軸を転換することを意味する。

「社会起業・社会企業」の意味は、一企業や一事業の起業にとどまらず、社会関係資本を厚くする=大きな公共の担い手としての政治家、行政人、法曹界、企業家、NPO、生活者など、新たな社会ビジョンを共有するものの協働事業としての起業である。

【環境マネジメントコンサルタント 杉原卓治】

*参考文献：『シリーズ思考のフロンティア 環境』諸富徹著・岩波書店・2003年
『シリーズヒューマニティズ 経済学』諸富徹著・岩波書店・2009年

3つのビジネスセミナーご案内

三井住友銀行グループのSMBCコンサルティングが主催するセミナーです。

契約に必要な基礎知識とトラブル対策

取引に関わる実務担当者に不可欠な法知識を、各種文例を参照しながらわかりやすく解説します。

日 程：7月6日(火)午前10時～午後4時45分

講 師：矢野千秋氏(弁護士)

受講料：33,600円

気がきく女性社員のワンランク上の仕事術

「さすが!」「ありがとう」と言われる仕事をしよう! 上司から信頼され、お客様に感謝される気配りと行動を解説。

日 程：7月7日(水)午前10時～午後4時45分

講 師：増谷淳子氏(株)ソフィアパートナーズ人事育成コンサルタント)

受講料：33,600円

従業員の精神疾患・健康管理をめぐる法律と実務

心身ともに健康な従業員が成果を上げる! 採用、配置、健康診断から休職、リハビリなど、トラブル防止のポイントを解説。

日 程：7月8日(木)午前10時～午後4時45分

講 師：石寄信憲氏(弁護士)

受講料：33,600円

京都第一法律事務所

TEL.075-211-4411(代)

URL <http://www.daiichi.gr.jp/> E-mail mail@daiichi.gr.jp

- | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|
| 弁護士 秋山健司 | 弁護士 岩橋多恵 | 弁護士 藤井 豊 | 弁護士 水野彰子 |
| 弁護士 浅野則明 | 弁護士 大河原壽貴 | 弁護士 藤澤真美 | 弁護士 森川 明 |
| 弁護士 荒川英幸 | 弁護士 大島麻子 | 弁護士 村井豊明 | 弁護士 渡辺 馨 |
| 弁護士 飯田 昭 | 弁護士 奥村一彦 | 弁護士 村山 晃 | 弁護士 渡辺輝人 |
| 弁護士 糸瀬美保 | 弁護士 谷 文彰 | | |



京都市中京区烏丸通二条上る時絵屋町280番地
マニライププレイス京都ビル4階

法律Q & A

親の預金の相続

Q 両親とも死亡したのですが、同居していた兄は、「両親の預金は残っていない」と言い、死亡して1カ月後の残高証明を見せられましたが、残高はゼロになっています。両親は預金を残していると言っていたのですが、どうすればよいですか。

A 両親が入院中に、同居していた兄が両親の預金通帳、届出印、カードを使って、両親に無断で預金を引き出した可能性があります。そこで、銀行に対し両親の預金口座の取引明細のコピーを請求することができます。コピーを請求する際に、以前、銀行は相続人全員の同意書を求めていました。しかし、最高裁平成21年1月22日判決は、相続人が複数いる場合でも、一人の相続人が「被相続人（本件では両親）名義の預金口座についてその取引経過の開示を求める権利を単独で行使することができる」としました。この判決が出て以降、銀行は相続人全員の同意書を求めることなく、亡くなった両親の取引明細のコピーを交付するようになりました。さらに、預金の払戻請求書や解約請求書のコピーの交付を求めることもできます。もし、銀行が交付を渋った場合、弁護士に依頼すれば、弁護士法に基づく照会を行ってそれらのコピーを入手することができます。払戻の日付や請求書の筆跡などから両親が入院中、両親の生活費や医療費を超える多額の預金が引き出されていれば、兄が両親に無断で預金を引き出したということを認定することができ、兄に対し自己の相続分に応じた預金額の返還を請求することができます。

(京都第一法律事務所 弁護士 村井 豊明)

葬祭マメ知識 / 百か日 ~ 三回忌

仏教がインドから中国に伝わり七仏事に百か日、一周忌、三回忌の3つの仏事が加わり十仏事となりました。百か日は死亡日を入れて100日目、一周忌は1年目の命日、三回忌は2年目の命日となります。四十九日は死別直後で遺族が心理的に混乱・悲嘆が強い時期であり、死別後1~2年は、人によりますが悲嘆が強い、いわば喪にあたる時期です。一般的に「喪中」とは死後約1年を言いますが、子どもや配偶者との死別などで2年、3年、あるいは5年と長く悲しみの期間である喪が続くことがあります。

(協力：公益社)



講習と試験Guide

各種技能講習 / 労基連

玉掛け

日 程：[学科] 7月8日(木)・9日(金)・10日(土)
会 場：京都市 / 受講料：17,850円、テキスト1,500円

フォークリフト

日 程：[学科] 7月5日(月)
[実技]第1班 7月6日(火)・7日(水)・8日(木)
第2班 7月13日(火)・14日(水)・15日(木)
会 場：京都市 / 受講料：29,925円、テキスト1,470円



特定化学物質・四アルキル鉛等

日 程：7月12日(月)・13日(火)

会 場：京都市 / 受講料：8,400円、テキスト1,680円

酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者

日 程：7月26日(月)・27日(火)・28日(水)

会 場：京都市 / 受講料：15,750円、テキスト2,310円

産業用ロボット

日 程：7月23日(金)・24日(土)

会 場：京都市 / 受講料：会員30,000円、一般27,000円、テキスト1,890円

【問合せ・申込み】 (社)京都労働基準連合会 Tel.075-321-2731 (社)京都南労働基準協会 Tel.075-611-8286 (社)京都上労働基準協会講習事務所 Tel.075-463-2735 京都下労働基準協会講習事務所 Tel.075-561-5000

各講習会は、連合会のホームページ<http://www.kyoukiren.or.jp/>で確認できます。

作業主任者等各種講習 / 建災防

型枠支保工の作業主任者

日 程：7月8日(木)・9日(金)

会 場：京都府中小企業会館 / 受講料：10,900円

車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)

日 程：7月14日(水)・15日(木)・16日(金)

会 場：京都府中小企業会館 / 受講料：14時間38,600円、18時間40,600円

車両系建設機械解体用(ブレーカ)

日 程：7月16日(金)

会 場：京都府中小企業会館 / 受講料：16,800円

高所作業車技能講習

日 程：7月21日(水)・22日(木)

会 場：京都市 / 受講料：36,800円、一部免除34,800円

高所作業車特別教育

日 程：7月23日(金)

会 場：京都府中小企業会館 / 受講料：13,300円

【問合せ・申込み】建設業労働災害防止協会 京都府支部
〒604-0944 京都市中京区押小路通柳馬場東入 京都建設会館別館内 Tel.075-231-6587 Fax.075-251-0058 受付時間：午前9時～午後5時

ホームページから講習予定、申込書が取り出せます。

<http://homepage2.nifty.com/KYO-KENSAI/>

全京都建設協同組合 メールアドレス一覧

川久保理事長	kawakubo@zenkyoto.jp
管 理 部	z-kanri@cocoa.ocn.ne.jp
設 計 室	sekkei@zenkyoto.jp
工事課・住宅設計課	z-koji@mocha.ocn.ne.jp
洛西センター	z-raksai@alto.ocn.ne.jp
洛南事務所	z-raknan@mocha.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.zenkyoto.jp/>

心をつなぐお手伝い

私たちはお客様の事業と運動に貢献する、パートナーでありたいと願っています。

印刷媒体、映像媒体、電子メディアの企画・制作、
イベント企画、DTP指導サービスの提供

 **株式会社 きかんしこむ**

〒601-8205 京都市南区久世殿城町330-1 TEL.075-935-1115(代) FAX.075-935-5100
E-mail: com@mediapark.co.jp <http://www.mediapark.co.jp>